



Banco MUFG Brasil S.A.
Treasury & Markets
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

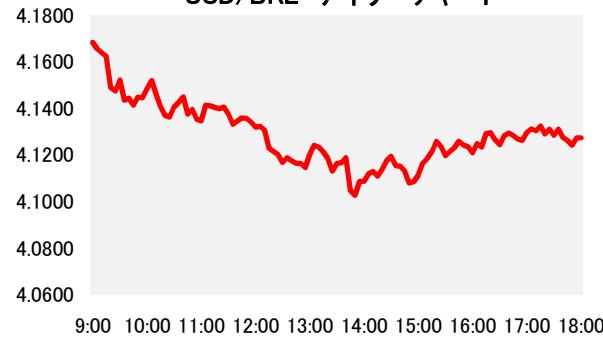
			9月13日	9月14日	9月17日	9月18日	9月19日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	4.2070	4.1730	4.1340	4.1620	4.1270	-0.0350
	BRL/JPY	Spot	26.600	26.850	27.06	27.00	27.20	+0.20
	EUR/USD	Spot	1.1690	1.1623	1.1686	1.1670	1.1673	+0.0003
	USD/JPY	Spot	111.93	112.06	111.86	112.36	112.27	-0.09
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	7.333	7.325	7.221	7.415	7.258	-0.156
	Future	1Year(p.a.)	8.252	8.223	8.084	8.013	8.147	+0.134
	On-shore	6MTH(p.a.)	4.050	4.013	4.002	3.883	3.833	-0.050
株式	Bovespa指数		74,686.69	75,429.09	76,788.88	78,313.94	78,168.66	-145.28
CDS	CDS Brazil 5y		284.70	285.00	282.40	280.98	279.16	-1.82
商品	CRB指数		191.406	190.484	189.643	190.562	191.767	+1.21

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

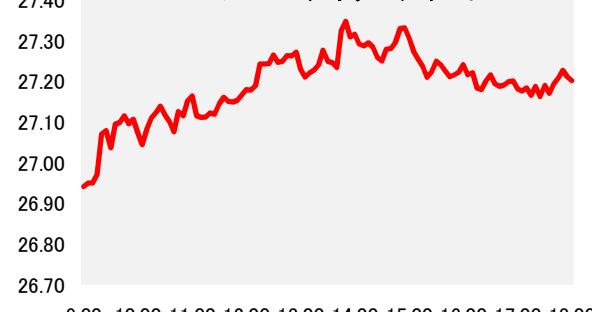
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
SELIC率	6.50%	6.50%	6.50%
(米)MBA住宅ローン申請指数	--	1.60%	-1.80%
(米)経常収支	-\$103.4b	-\$101.5b	-\$124.1b
(米)住宅着工件数	1238k	1282k	1168k

USD/BRL デイリーチャート



BRL/JPY デイリーチャート



3. 要人コメント

なし	
----	--

4. トピックス

- 本日のレアルは4.1610で寄り付いた。米中間の通商問題に関して、中国が輸出競争力の向上を目的に人民元の切り下げを実施しない旨を示すと、国外市場のリスク回避姿勢が緩和。レアルはじりじりと買われ、午後に入ると日中高値4.1010を付けた。その後4.12台を小動きに推移し、結局4.1270でクローズした。
- 昨日のマーケット引け後、国内調査会社Ibopeが大統領選挙に関する世論調査を発表した。結果はボルソナロ候補28%(前回比+2%)、アダジ候補19%(同+8%)、ゴメス候補11%(同+0%)、アルキミン候補7%(同▲2%)、シルバ候補6%(同▲3%)、と他調査同様労働者党(PT)所属のアダジ候補が支持率を伸ばす結果となった。但し、今回の結果は他調査会社による結果と大きく変化はなく、市場への影響は限られた。
- 18-19日に実施されたCOPOMでは予想通り政策金利を6.50%で据え置いたものの、声明文では「インフレの見通しや、リスク状況次第では今後低金利による景気刺激策を徐々に解消する可能性がある」とし、金利引き上げを示唆する内容となつた。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。